

リニアを
考える

県民ネットワークいよいよ結成へ

7月27日(日)

ちこり村で結成総会

7氏が呼びかけ

地域と暮らしのため、リニアへの立場の違いを超えて力をあわせようと「リニアを考える岐阜県民ネットワーク」が、いよいよ結成の運びに。以下の著名7氏から「結成の呼びかけ」が出されることになりました。

【呼びかけ人・50音順】

大山勝・リニアを考える坂本住民の会会長、近藤愛子・染色家、

庄司善哉・秋田大学名誉教授、西

尾重人・リニアを考える恵那市民の

会会長、原重雄・東濃リニアを考

える会代表、古瀬和寛・医師、吉田

豊美・リニアを考える坂本住民の会事務局（以上敬称略）

結成総会は7月27日(日)午後、中津川市の「ちこり村」で開催予定です。

6月12日(木)

地元3氏が政府交渉へ

リニアの予定沿線地域で広がる様々な不安。浮上する問題点。このまま着工など許せないと、代表が12日に上京。政府と交渉します。衆議院比例東海ブロック事務所が窓

口で、岐阜県からは木下律子（中津川市議選候補）、水野功教（恵那市議）、鷹見信義（元中津川市議）の3氏が参加します。いずれも県議とともに参加します。

坂本住民の会

別日程で政府交渉予定

中間駅予定地の中津川市坂本では「住民の会」が独自の日程で政府に要望を届けようと奮闘しています。

請願署名 待っていました

国会での徹底審議と計画凍結を求める請願署名。「(これを)待っていた。あまりに無謀な計画の凍結を求める請願で、この地に住む希望が持てた」と賛同のハガキが…。

ハナノキ守れと 常会で決議



これが
ハナノキ

カエデの仲間、ハナカエデとも。日本固有種で、岐阜・愛知・長野3県境の山間湿地に自生。4月に赤い花をつける。中津川市坂本地域では明治末年に自生が確認され、1920年（大正9）7月、国の天然記念物に指定。環境省の絶滅危惧Ⅱ類に選定されています。

リニア関連の自動車道建設で、絶滅危惧種のハナノキが文字通り絶滅の危機に。地元の中津川市千旦林岩屋堂地区の自治会「二組」が「貴重種を守れ」と常会で要望を決議。

「オオタカ」には配慮求めるが
ヒトの暮らしをどうするのか

計画変更は求めない環境相意見

JR東海の「環境影響評価書」に対し環境相が5日に出した意見書。「リニア生態系に相当負荷」（中日）がありオオタカやサシバナなど野鳥に配慮を求めましたがリニア計画の「変更は求めず」（朝日）。暮らし破壊の負荷はどうするのでしょうか？